

# 平成30年度 広島県病害虫発生予察情報 予報第3号（水稻）



平成30年7月17日発表  
 広島県西部農業技術指導所  
 対象期間 平成30年7月中旬～7月下旬

1		予報内容（7月下旬まで）		
病害虫名		現況	予報	防除上の注意事項
葉いもち	中北部	少	やや少	◇ほ場の見回りを徹底する。 （育苗箱施用剤を処理していても、発生に注意する。） ◇既に発生が見られるほ場では、速やかに防除する。 ◇穂ばらみ期の防除を徹底する。 ※中北部：中東部、中西部、北部
	南部	並 (発生なし)	並	
紋枯病		やや多	—	◇昨年度、紋枯病が多かったほ場は注意が必要。 ◇高温で経過すると感染が進み、発病株率が増加するので注意が必要。（病原菌の稲への侵入は、気温22℃以上で起こる。） ◇要防除水準；穂ばらみ期の発病株率が、早生品種で10%以上、中生品種で20%以上。
セジロウンカ		やや少	やや少	◇要防除水準に従い穂ばらみ期の防除を行う。 ◇要防除水準；幼穂形成期から穂ばらみ期に10頭/株以上。 ◇飼料用イネなどインディカ系を親にもつ品種は注意！ （たちすずか、たちあやかなど） 一般的にインディカ種は、セジロウンカが増殖しやすいことが明らかにされており、飼料用イネで防除を行う場合には、「 <a href="#">稲発酵粗飼料生産・給与技術マニュアル</a> （農林水産省HPに移動）」を参考にする。
斑点米カメムシ類（カスミカメムシ類、その他加害種）※	中北部	並	やや多	◇出穂期近くになっての畦畔などの除草は、カメムシ類を水田内に追い込むことになるので、出穂2週間前までに刈り終える。 ※カスミカメムシ類はアカスジカスミカメなどの小型のカメムシ類、その他加害種はホソハリカメムシなどの大型のカメムシ類



○病害虫発生予察情報やフェロモントラップ等の調査データは、広島県ホームページで閲覧できます。

広島県 植物防疫

検索

または



○お問合せ先：広島県西部農業技術指導所 植物防疫チーム  
 （東広島市八本松町原 6869 tel：082-420-9662）

## (1) 葉いもち

◆予報（中北部：やや少，南部：並）

◆現況調査結果（中北部：少，南部：並）

	中北部			南部		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年
発生地点率	4.8	17.1	4.8	0	2.5	0
平均発生程度	1.00	1.03	1.00	1.00	1.00	1.00

◆7月上旬におけるBLASTAM（いもち病感染好適日判定モデル）による感染好適日が過去10年の中で平年並みで推移している。

7月上旬	中部			北部			南部		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
1地点あたりの感染好適日の出現日数	1.1	1.3	1.1	1.0	1.4	1.5	0.4	0.7	0

## (2) セジロウンカ

◆予報（やや少）

◆現況調査結果（やや少）

	本年	平年	前年
発生地点率	26.9	53.1	19.2
平均発生程度	1.02	1.15	1.01

【予察灯（呉市安浦町）での7月5日までの誘殺累計】本年0頭，平年22.8頭，前年0頭。

## (3) 斑点米カメムシ類（カスミカメムシ類，その他加害種）

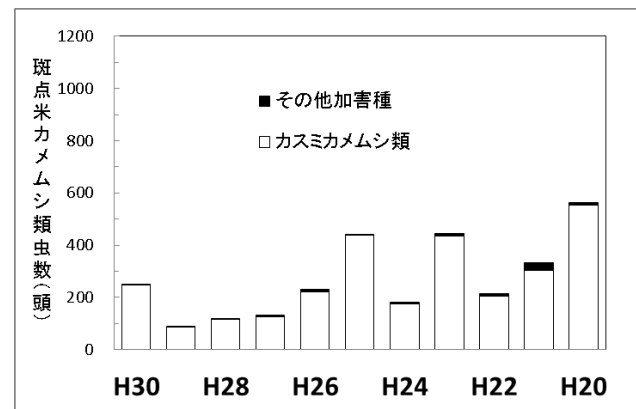
◆予報（中北部：やや多）

◆現況調査結果（中北部：並）

発生頭数	本年	平年	前年
カスミカメムシ類	249.0	286.0	86.9
その他加害種	1.9	9.6	3.5

※発生頭数は捕虫網による牧草地での20回振りすくいとり調査による

◆気象条件：中国地方1か月予報によると，平均気温は，高い確率70%と予報されている。

6月下旬における牧草地すくいとり調査結果（頭）  
（H26年以前は7月上旬調査）

「予報」「現況」は、「多～少」の5階級に区分して発表しています。区分の方法は、原則として、過去10年の数値を発生が多かった順に並べて、相対比較しています。

- 「多」 : 1番目(最多年)と同程度以上
- 「やや多」 : 2～3番目と同程度
- 「平年並」 : 4～7番目と同程度
- 「やや少」 : 8～9番目と同程度
- 「少」 : 10番目(最少年)と同程度以下

区分	多	やや多	並				やや少	少		
順序	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

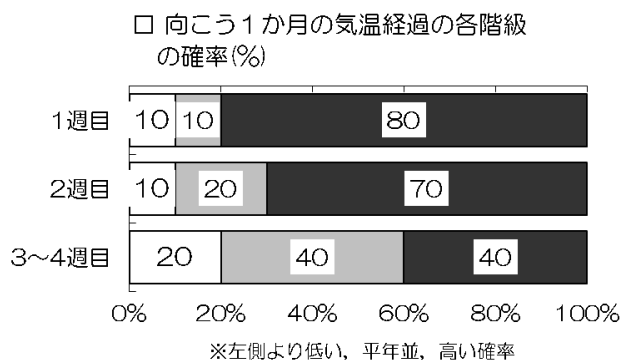
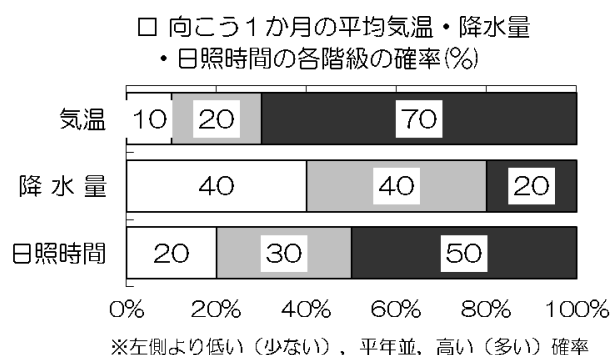
### 3 その他の病害虫の発生状況(現況調査:7月2～4日,26地点調査)

病害虫名	現況	防除上の注意事項等
ヒメトビウンカ	並	縞葉枯病を発病した株は抜き取る。
フタオビコヤガ (イネアオムシ)	やや少	-
トビイロウンカ	並 (発生なし)	-
コブノメイガ	並 (発生なし)	-

### 4 気象情報

中国地方1か月予報(広島地方気象台7月12日発表,7月14日から8月13日までの天候見通し)  
 平年に比べ晴れの日が多いでしょう。

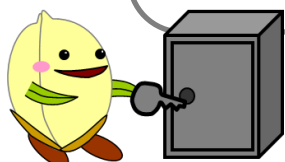
向こう1か月の平均気温は、高い確率70%です。降水量は、平年並または少ない確率ともに40%です。  
 日照時間は、多い確率50%です。



6月1日から8月31日まで、**農薬危害防止運動**実施中!



農薬を使う際は、容器のラベルをよく読んで、  
 使用方法や注意事項を守り、農薬による危害と事故を防ぎましょう。



糶之進



りもれん